

真っ赤に紅葉する櫨(はぜ)の木

小 関 栄

この付近の野山には櫨(はぜ)の木が多く自生している。普段は雑草や雑木の中に埋もれて目立たないが、晩秋になると真っ赤に紅葉して一際鮮やかに目立って美しい。(右は倉馬の里で11/1撮影)



この櫨の木はウルシ科の落葉樹で当地ではウルシ、ヤマハゼとも云っている。

また、この木に触れるとかぶれるのでカブレの木とも云った。因みに漢名は野漆樹(yangqishu)又は木蠟樹(mulashu),英語ではwax treeである。漆塗料や蠟の原料になることから名付けられている。

櫨の木は初夏に葉の腋に黄緑色の小花が咲き秋には灰黄色の小玉に結実。葉は小枝の両側に細長い濃緑の小葉七、八枚が対照的に付く。この葉が秋になるに連れ次第に紅葉、晩秋には一斉に真っ赤になる。これを櫨紅葉と



云う。櫨紅葉は古くから多くの人に愛でられてよく詩歌に詠われている。(はじははぜの古称)

「山深み 窓のつれづれ 訪ふものは

色づき染むる はじの立枝」(西行)

「鶉啼く かた野に立てる はじ紅葉

散りぬばかりに 秋風ぞ吹く」(藤原親隆)

「櫨紅葉 稻刈る人に 日々あかし」(虚子)

写真は花の村倉馬の里近くの山の櫨紅葉(11/20撮影)

倉馬の里 深紅に燃ゆる 櫨紅葉 淡水

〔会費・寄付金納入についてお礼〕

今年の8月、はなの村便り86号で会員・読者の皆様に会費納入と寄付のご協力依頼をお願いいたしましたところ、多くの方からご厚意をいただき次のようになりました。つきましては今後の村の運営に有効に活かして参る所存です。

心から皆様のご好意に厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

代表 池守 幸一

期間 8月1日～10月31日

会費納入 50,000. —

寄付 67,000. —

計 117,000. —